

JEITA

電子情報技術産業協会規格

Standard of Japan Electronics and Information Technology Industries Association

JEITA RC-5231A

電子機器用ピンプラグ・ジャック
Pin Plugs and pin jacks for electronic equipment

1993年3月制定

2010年4月改正

作 成

接続部品標準化専門委員会

Technical Standardization Committee on Connecting Components

発 行

社団法人 電子情報技術産業協会

Japan Electronics and Information Technology Industries Association

まえがき

この規格は、社団法人 電子情報技術産業協会 電子部品部 接続部品標準化専門委員会 コネクタグループが作成したものである。

この規格は、著作権法によって保護されている著作物であるため、許可なくこの規格の一部又はすべてを複製・転載することを禁止する。

この規格は、この規格の一部が、工業所有権（特許権、実用新案件、意匠権など）に抵触する可能性に関係なく制定されている。社団法人 電子情報技術産業協会は、このような工業所有権に係る確認について、責任はもたない。

この規格は、**JEITA 基準 TSC-16**（電子情報技術産業協会規格類の作成基準）の様式によって作成した個別規格である。

電子情報技術産業協会規格

電子機器用ピンプラグ・ジャック

Pin Plugs and pin jacks for electronic equipment

1 適用範囲

この規格は、電子機器に使用するピンプラグ・ジャック（以下、プラグ・ジャックという。）について規定する。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで、西暦年を付記してあるものは、記載の年だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版、Amendment 又は追補には適用しない。西暦年を付記していない引用規格は、その最新版（Amendment・追補を含む。）を適用する。

JIS C 5401 電子機器用コネクタ通則

JIS C 5402 電子機器用コネクタ試験方法

JIS C 60068-2-21 環境試験方法－電気・電子－第 2-21 部：試験－試験 U：端子強度試験方法

3 用語の定義

この規格で用いる主な用語及び定義は、**JIS C 5401** 及び **JIS C 5402** による。

4 形名

4.1 形名の構成

形名の構成は、次の配列による。

$\left(\begin{array}{c} \text{コネクタを} \\ \text{表す記号} \\ \text{4.2.1} \end{array} \right)$	$\left(\begin{array}{c} \text{プラグ・ジャックを} \\ \text{表す記号} \\ \text{4.2.2} \end{array} \right)$	$\left(\begin{array}{c} \text{種別を} \\ \text{表す記号} \\ \text{4.2.3} \end{array} \right)$	$\left(\begin{array}{c} \text{構造を} \\ \text{表す記号} \\ \text{4.2.4} \end{array} \right)$
例 CN	PJ	P	0

4.2 記号

4.2.1 コネクタを表す記号

コネクタを表す記号は、CN とする。

4.2.2 プラグ・ジャックを表す記号

プラグ・ジャックを表す記号は、PJ とする。

4.2.3 種別を表す記号

種別を表す記号は、1 英大文字で表し、**表 1** による。

4.2.4 構造を表す記号

構造を表す記号は、1 アラビア数字で表し、**表 2** による。